

令和6年度まちづくり座談会会議録（次年子）

開催日時	令和6年7月30日（火）午後7時00分～午後8時15分
開催場所	ふるさと自然館次年子
出席者	町長 庄司 中 副町長 高橋 裕 産業振興課長 八鍬 誠 建設課長 大沼進悟 総務課長 土屋弘行 教育文化課長 小林基流 まちづくり推進課長 大山和彦
出席者	12名（男性10・女性2）

議事概要

1. 開 会	土屋総務課長の進行で開会する。（午後7時00分）出席者紹介
2. 町長あいさつ・今後のまちづくりについて説明	庄司町長
3. 予算・支援事業等説明	総務課長
4. 懇談・意見交換	
建設課長	<p>（建設課から町道関係の現在の被災状況、今後の対応についての説明）</p> <p>町内では13箇所の災害を確認しております。その内、次年子地区に関連する部分でございますが、5箇所ほど確認しております。まずは町道葉山線わらび園の付近で土砂崩れ、それから下ってきて、鉄塔のあたりでもう一箇所、土砂崩れを確認しております。さらに旧産業組合から上がった部分、丸木沢川の部分です。葉山線全線において軽微な土砂の動きが確認されております。それから、同じく葉山線の先ほど申し上げた丸木沢の付近ですが、わらび園付近では路肩の崩落、春に雪解けでちょっとやられた部分修復したんですが、さらにまたちょっと崩れておりましたのを確認しております。それからずっと下ってきて丸木橋の付近ですね。300メートル登ったところですが、こちら水路を土砂が閉塞してしまいまして、その水が悪さをして舗装部分が傷んでいるというところを確認しております。それぞれ今現在、業者さんとの調整に入っております、なんとかお盆前には復旧したいなということで取りかかっておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。町道については以上です。</p>
産業振興課長	<p>（産業振興課から農業関係の被害状況についての説明）</p> <p>農地関係であります、町内全体で今のところ、概算であります、213ヘクタールほど冠水の方を確認しております。被害状況につきましては、今農協さんと調査の方は行っておりますが、冠水の方は213ヘクタールということで確認をしております。あと、林道小平線であります。次年子地区の皆さんにも通行止めということでご迷惑をお掛けしておりますが、法面の崩壊につきまして4箇所、路肩の欠損につきまして、3箇所ということで、今7箇所の被害を確認しております。今業者さんと調整をさせていただいて、土砂撤去に向けて日程調整をしているところです。ただ、路肩の方については、非常に危険な箇所もございましたので、</p>

	<p>安全確認をさせていただいた後に、通行というふうに考えてございますので、もうしばらくお待ちいただきたいと思います。</p>
<p>●●さん</p>	<p>色々今説明を受けました。けれども、町長さんの方から、町の方向性とかそういう関係でだいたい分かりましたという感じだけでも、我々としてはやっぱり身近な問題で、今必要なすぐの問題を我々はやってもらいたいという要望があるので、その辺をなるべく聞いてもらいたい。さっき町道関係の話を課長さんが言いましたけれども、そっちの方がなるべく早くやってもらわないといろいろそば播きとかその他のことで道路使うもんだから、早くなんとか回復してもらいたい。あと、いろんな面で相談したいことはあるんだけど、もう一つは、前から次年子地区内ではいろいろ話をしてたんだけど、町道荒屋敷線の坂の問題なんだけど、冬になると、車が登れないというか、(ゴミ)回収車が登れないから、下まで我々は運んできてるんだけど、そういう町道ではダメじゃないかというわけで、一応これから要望書を出す予定していますが、その辺もなるべく早めにちゃんと町道として通れるようお願いしたいと思います。それからもう一つ、学校、今いろいろなことで使ってるわけなんだけど、屋根の方がかなりひどくなっているもんだから、その辺を何とか町で(修繕)することできないのかなと考えております。県外から、定住してくれた人が住んで、いろいろな仕事をやっているわけなんだけど、そういう定住促進したとか、県とか国とのつながりとか、そういうのはないのかなと。そういう助成的なことはできないのか、その辺もちょっと町の方に相談してみたいなと思います。</p>
<p>建設課長</p>	<p>町道関係は、先ほど説明させていただいた災害による町道の復旧ですが、なるべく早く改修、復旧に努めたいと思いますので、もうちょっとだけお時間を頂戴したいと思います。ただ、荒屋敷線の改修、以前から要望としてお聞きしておりまして、なかなか実現にこぎつけられなかった部分でございます。これも何もしてないわけではなくて、内部でも検討しておりますので、なるべく要望に添えるように頑張りたいと思いますので、よろしく願います。ありがとうございます。</p>
<p>まちづくり 推進課長</p>	<p>学校の屋根の修理についてなんですけど、今現在、私が把握している中では正直なところ、まだ定住関係の予算の中で解決するものちょっと思い浮かばないような状況です。なので、持ち帰らせていただいて調べてみたいと思いますのでよろしく願います。</p>
<p>●●さん</p>	<p>なるべく早くしないと、だんだん雨漏りするぐらいになっていますのでね。</p>
<p>●●さん</p>	<p>最近やっぱりあの、こっちにも結構お客さんとかいっぱい来るようになって、あの学校自体をみんな残してほしい。卒業生もやっぱり使ってくれて嬉しいということがあった。言葉だったりとか、建築自体、建物自体やっぱり貴重なもの。今、円形校舎って残ってないので、それを神戸大学の教授とかが、研究のため見に来たりとか、そういう建物になってるので、僕もやっぱりあそこを大事にしたいなっていう気持ちもあるんですよ。最初僕が来た時は、僕がもう全部、その責任を負うってなっ</p>

	<p>んですけど、そうしないと借りれなかったです。僕もここまでやってきて、そこら辺もちょっと見てもらえたらなあ。あと僕の方でも、例えばクラウドファンディングとか、あと卒業生の方、寄付いただけたらいいなとかいろいろ考えてるんですけど、一緒にちょっと考えてもらえればなと思っております。</p>
<p>総務課長</p>	<p>そうですね。今、●●さんから生の声ということだと思うんですけども、それはやはり●●さんと相談しながら、いろんな方法で取り組んでいったりということで、その辺●●さんと、話もしていきながら、全部出すっていうのもなかなかちょっと厳しいかなというふうに思いますので、どの辺で折り合いを付けるかというところもあると思いますので、その辺は、協力し合ってより良い方向に進めたらなというふうに思いますので、今後ともよろしく願いいたします。</p>
<p>●●さん</p>	<p>今、大石田町予算51億8000万円、人口は今、6100人。町の職員教育についてちょっと思うところもあってなんですけど。昨日ですね、あの西川町の菅野町長とお話しする機会がありまして、ちょっと講演で聞きまして、すごいなど、うちの町長あれくらい頑張ってくれと、大石田町90億ぐらい予算とれるのではないかと感じてきたところです。何かといえば、交付税。すごい、引っ張り方が上手だ。菅野町長にも言ったが、うちの町長とも交流して、いろいろ教えてほしいと言ってきた。ちなみに西川の予算が72億円、20億違うわけ、あつちは4000人、人口が。観光資源があるというのが大きな強みだと思うんだけどね。いいところをどんどん吸収してもらって、ぜひやってほしい。あとさっき言ったその職員教育面で、菅野町長も職員に対して一番最初に言ったことがあるんだそうです。人事面での戦略の徹底ということで、課長補佐への昇格のポイントということで、今ここにいるのはみんな課長級だから、関係ないけれども、1つが、情報共有でき、まとめる能力のある職員。2つ目、何事も積極的な職員。3つ目、財源確保と目的達成を意識して事業を遂行できる職員。4つ目、事務能力の長けた職員。5つ目、共感を呼べる、巻き込める職員。町民との対話に積極的な職員。最後に外の人も大事にする職員。7つのポイントを職員の前で言って、そのぐらいできれば下の人でもポンと課長補佐になれるんだよと。大石田町の職員をみて決して適していないとは言いませんけれども、やはりこういう心構えというのが必要だと思いますので、その辺、町長、心構え的なことで職員に言ったことってあるでしょうか？それは一つ聞きたいと思います。</p>
<p>町長</p>	<p>菅野町長とは、様々なことで今、いろいろな情報交換をしまして、西川町に行って私たちが勉強してきたり、西川町の職員も大石田町に来て、いろんな情報交換を、今しているような状況です。菅野町長、本当に元財務省出身で様々なデジ田交付金を持ってきて町を活性化しているのはもう本当に私も分かっております。あとはその取り方も本当に特殊でして、色々そんなやり方があったんだ、そこは大丈夫なのかというのも確かにあたりですね。デジ田交付金の半分は一般財源になりますので、その辺も含めてですね。私たちが今、本当に遅ればされながらですね、勉強して、財政中心で様々な課で、交付金を活用しながらどんなことができるかということを進めているところです。来年度予算になるかどうかかわからないが、デジ田</p>

	<p>交付金を使った様々な施策はしていきたいなと思っております。心構えというか、私の方は実は職員に対してこういうことすると昇格するぞっていう話は正直しておりません。そこまでじゃなくて、まずは基本となる挨拶をしっかり、そこからしていきましょうという話をまずさせていただいたところです。それで、あの人事に関わることもこれからモチベーションを上げるためにはやはり必要なのかなと今お話を聞いて思ったところです。ありがとうございます。</p>
●●さん	<p>ちなみに職員も何人かいて、職員の声どうなんだ？っていう話も出て、一人ひとり全部言ってもらって、「実際、菅野町長になって大変です。ただ、やはりやりがいがある。大変だけど、やはり今、町長言っていることは今しないと、西川町は終わってしまう」やっぱり、やりがいがあるからついでにこうと思って一生懸命頑張っていると意見がもうほとんどで、ただ、みんな言うのは大変だと今までの町長に比べると。ある人では、倍以上大変だということだった。ただやりがいがある、そのやりがいがあるって言葉が職員から出るっていうのがすごくいいことだなと思って。大石田の職員は、「よし、庄司町長、楽んねけど頑張るべ」と言える人何人いますか？ちなみに副町長はデジタルの方で、一生懸命頑張ろうと言っているんだから、やっぱりどんどん頑張ってもらって。今町長言った、デジ田交付金の補助、それどんどん引っ張ってくれば、もっと事業できるし。予算の額のようにやっぱり違うと何で違うんだよと考えてしまうから、金なきや何もできないしね。ひっ迫してるひっ迫してるって事ですからね。そういうのをどんどん活用してもらって、できればその一部でもいいですから、こちらの地区にも回してもらって、その道路改修とかいろいろできればなということで一言言わせてもらいました。</p>
●●さん	<p>ちょっと関連するかもしれませんが、町長さん若い職員の方とも話し合いを持っていらっしゃるということで、そこら辺で何かこうヒントになるとか町長さんから示唆するような、そういった場面とかあったらちょっと教えていただけたらと思うんですけど、どうですか？</p>
町長	<p>はい、ありがとうございます。若手職員と話す内容は20年後、まず、予算とかそういう金を考えないで考えてくれという話でしております。やはりいろんな意見が出ます。例えば、ちゃんとしたゆるキャラつくってやったらいいんじゃないかとか、駅前をちゃんと整備しなきゃいけないんじゃないか、あとは（町民が）残るような集合住宅であったり、子育て用の一戸建て住宅が必要なんじゃないかとか、スポーツ施設が必要なんじゃないかとかですね。あと、学習に特化して、もっと大石田ならではの教育を何かしたらいいんじゃないかとか、そういう話とかもですね、いろいろ色々出ております。それを色々ちょっとまとめてですね、今度、課長会なりで、発表というか提言していきたいなと考えているところです。</p>
●●さん	<p>目の前のことも大事なんだけど、やっぱりその先を見通すということもすごく大事だなと感じます。20年後、俺はどうなってるか分からないんですけども、そういう意味では、ここ次子地区も限界集落と呼んでも、呼ばれても言い訳できないような状態に今あるし、大石田町もその20年後がどうなってるか、かなり不安な</p>

ところもあるんです。そういう意味で3ページ(資料)に「定住対策とまちづくり事業」と書いてあったんですけども、この2つの上の方、定住の大部分は豪雪対策っていうか、そちらの方に向いてるような気がするんですけども、私だけ尾花沢の方に勤めているので、尾花沢の方を見てると県外から移住してくる人が何人かいるんです。出て行く人よりも少ないと思うんですけども、私が知っている人にはスノーボードをやり、花笠高原スキー場のところに移住してきてる人がいます。それからスイカ作りをやるということ、それも何件か来てます。そういう今いる人をそこにいさせるということよりも他からどれだけ集められるかということ、とても大事だと思うんですけども、そのためには目玉となる大石田町の目玉が必要じゃないかと思うんですけども、そのあたりのビジョンというのはどうお考えでしょうか？

町長

ありがとうございます。尾花沢市は、やはりスイカ学校っていうのを作って、今県外から集めているのは認識しております。実は私も先日、島根県の海士町という島に3日間行って研修というか学ばさせていただきました。あそこも6人に1人が移住者になっているそうで、本当何にもない、施設なんてないんですけども、それがインターンシップ制度という大人の留学という島留学ということで、3ヶ月間まず来てもらって、町内の仕事に就かせてもらって、3ヶ月更新、半年更新という形で延長延長ということもできるような体制をとっているという話をこの間聞いてきました。町としてもですね大石田町もそういうことが今できないかなということは今ちょっと私の中で今考えているところです。おっしゃる通り、外からの移住者も必要と、来ていただけるようなまちづくりが、大石田に来て住んでみたいとか、大石田で働いてみたいとかいう方がいれるようなまちづくりをやはりしていきたいなと思っております。次年度地区は、そば屋さんが多いし、大勢来ていただいておりますが、例えばそばを習うような、習いながら自分が修行するような形で、そば屋を出せるような体制とか、また次年度窯さんのように陶器を作るような修行しながら育ていけるような体制をつくるとか、そういったことを考えていかなければいけないなと思っております。

●●さん

今、オンラインでも仕事ができる世の中ですので、向こうで(関東の方で)仕事をしながらこっちでリフレッシュしていく、リフレッシュしながら仕事をちゃんとしているみたいな、そういうアイデアとかもあるかと思います。特に次年度には、いいところいっぱいあります。

●●さん

さっき話があった町道の件ですけども、牧場線もそうだし、林道もそうですけども、ちょっと今日八鍬課長に電話でも相談したんですけども、今ちょうどそばの種蒔きの時期なわけだ。それがやっぱりまだ改修できなくて蒔けない。8月の末になっちゃうともう実がなんないわけだ。その辺の対策、うまくしてもらわないと、やはりそばの耕作者も困るので。あとは収量もなくなったらそば屋さんも。その辺も考えた上での対策、例えば道路の改修する対策であり、その後の作物の、例えば補助金の対策だったりいろいろあると思いますので、その辺も含めてよろしく願いしたいなということです。

産業振興課長	補助の関係についてはまだ担当の方と話してませんが、その辺も含めた対策ということで、ちょっと検討させていただきたいと思いますし、なるべく早く改修できるようにやっていきたいと思います。
建設課長	葉山線については、旧の産業組合の方から上がっていくと、わらび園のところで止まってしまうので、そば畑まではまだちょっと行けないんですけど、今現在でも山の内側からは行けることを確認しております。先ほどもあった通り、お盆までにはなんとか開通したり、出来るだけもう前倒しで開通出来るように業者さんとも話してますので、まずは山の内側からであれば放牧場すぎて、そば畑までは行けることはこちらでも確認しておりますので、もし本当に必要であればそちらからはいつでも行けます。下からも何とか入れるように対応していきたいと思いますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。
●●さん	トラクターで行くと時間が倍かかるんです。トラクター15 km/hしか出ないので、ノコギリ行くしかない。そこも考えてもらって。
総務課長	担当課の方でも早急な対応ということでも考えてますのでご理解をお願いします。
●●さん	さっき区長が言った荒屋敷線の改修してもらおう要望書、あれはいつ頃まで？早急に出した方がいいのかな？
建設課長	要望書は、随時いつでも受け付けております。
●●さん	うちのわらび園はイノシシでかなり荒らされているのですが、そういう有害駆除については、どのように対応していただいているのか。
産業振興課長	クマっていうと猟友会とかっていうことでお話をさせてもらいたいと思いますが、イノシシについても電気柵の設置ということで、今少しずつ進めてはいるんですけども、なかなか全ての農地の方まではいけない状況でございまして、色々なところでお話を聞くとイノシシ被害があるという話は聞いておりますが、なかなか良い対策が出てこない。どこに行っても「イノシシで荒らされてよー」っていう話はあるんですけど、駆除がですね。イノシシが増えて困るということがありますが、なかなか今のところ良い方策がない状況でございまして。
●●さん	鳥獣対策として国に特区申請して、いつでも駆除できる銃特区申請してみたらどうですか？全国でもまだ無いはず。それがどのような効果が出るか実証するための特区。夏冬いつでも関係なく、いつでも撃てる特区。罠もいいし、鉄砲もいいし、出来るか出来ないかわかんないけど、そういうのちょっと面白いと思うから、県なり、国にちょっと聞いてもらって。広い地域で特区といっても無理だろうから、ちょっと小っちゃいところでも（イノシシ）結構いるし、被害が多いからそれが特区申請してやってみるという手も面白いなと思います。

教育文化 課長	<p>今年は来年の3月いっぱいまでイノシシの駆除は有害駆除許可出てますので、罾も銃も許可が出ている。</p>
●●さん	<p>どこの市町村さんに行っても、結局は行政から猟友会に委託なるんだけど。かなり会員数が多い猟友会は良いかもしれないけど、大石田町みたいに十人足らずの猟友会員しかいない中で、もう高齢者しか残ってない。そこにイノシシの駆除、クマの駆除をお願いしますって言うても、その中でも3、4人しかイノシシ、クマには従事できないっていう状況だから、銃を持ってるから全員が出来るかといってもそういうわけでもない。そういう甘い猟でもないし、駆除でもない。だから新聞とかテレビでも取り上げられたけれども、村山市が一番最初にこの辺ではそんな額では危険を冒してまではできないよっていうのは、北海道でもあったけど、それは当然のことだと思うし、だから別に俺はお金欲しくてやってるわけじゃないんだけど。俺がお願いするのは、罾だけでもいいから役場職員が取って、罾を設置したりとかそういうのを協力してくれたらどうなのかって俺は思うのよ。銃を取ってくださいじゃなくて、罾猟の資格を取って罾を設置。役場職員も一緒に設置して、見回りも一緒にというか手分けして見回りをする。それだけでもイノシシがかかれば頭数は減っていくべし。ただ3、4人しかできない猟友会員を頼るのではなくて、町として動くみたいじゃないと、俺は頭数は減らさんねと思う。だから罾しか持ってなくても、(罾に) かかれば銃を持っているその猟友会の会員に止めさしをお願いするか、やり方なんかいっぱいあると思うから。他の市町村でも、やっぱり尾花沢でも市役所職員が罾とか持ってる人なんかいっぱいいるし。この前銃の経験者講習行っただけでも、東根の農協職員の人でも女性の方が経験者講習を受けに来てたからやっぱり銃を持ってるんだけど、銃の経験者講習なんで、人少ないからやり方を変えて、みんなでこうした方が効率が良くなるかなって自分個人的な意見で。だから、一頭当たりの駆除の金額を考える前に駆除に当たる人たちの確保がまず優先なのかなと、大石田の場合は自分はそう思ってます。銃だとやっぱり負担が大きいから。罾だと1日2日で講習を受けて試験さえ合格すれば罾の猟の資格となる。でも取ったから必ず(罾を)かけて捕まえられるがっていうのはやっぱりそこも経験だから。でも、罾の免許を取れば罾を設置するっていうことはできるから誰でも。そういうのをみんなで会員っていうか、資格を持っている人を増やして、みんなで設置してみんなで見回りする。この見回りも大変なんですよ、数をいっぱいかければかけるほど、かかったらもう銃持ってる人さ止めさししてけるみたいなやり方で、あとはやっぱりそこからまだ問題はいっぱいあるんだけど、その駆除した個体をどうするのかという問題も出てくるし。</p>
町長	<p>猟銃は年に1回だけど、罾は結構定期的にある？</p>
●●さん	<p>2、3日前、北村山猟友会の北村山支部の役員会に出席してきたんだけど、先週あたりも猟友会で講習してるのよ。そういうのに参加して勉強して、狩猟免許試験ってのを受けるんならねんだけど、ほんで合格すればその罾猟ってのは取れる。狩猟免許は4地区である。銃よりは全然簡単に取れる。</p>

教育文化課長	今あったように特に夏場は罾とかだと捕まえられるんですけど、冬場みたいに跡が残るのがちょっとなかなか雪の跡ほど追いやすくないので、なかなか銃では銃だけ持って撃つっていうのも難しいと思うんです。今あったように罾にかかったのを銃で止めさしするっていうのが、やっぱり一番夏場はいいのかなと思いますし、そのために罾と銃がセットで有害駆除の許可となっていると思いますので。
●●さん	去年よりはだいぶ個体数がかなり多い。かなり多くなってきてるっていうのは見なくても大体わかる。
町長	罾猟だけの免許があるのも、ちょっと僕は初めて知りましたので、これからちょっと勉強させていただいて、庁内でそういう話をしていければと思います。
●●さん	15人いだんがや？15人ぐらいしかいねんだな会員、その中でクマ、イノシシしてる人なんか1/3ぐらいしかいない。罾だけ持っているのは大石田では、いないんねかな。村山とか他では、罾だけという人が結構いる。止めさしも誰かに頼みたくないって言うのであれば、電気で止めさしするやつもあんのよ、電気の止めさしが。それだと免許とかもいらねえからね、電気だと。
●●さん	前に言ったように職員の希望者に是非取ってもらう。
総務課長	ただいま参考になるご意見を頂戴いたしました。●●さんがおっしゃるように、職員の中で、取ってもいいよ、というふうな人がいればそういうふうに対応できればなというふうに今思ったところでございます。ありがとうございます。
●●さん	この間、牧場の方に行ってきたけど、こっち次年子の方から行くと、草刈りなっているけれど、山ノ内の方から行くと草刈りされていない。あっちはなんで刈らない？
建設課長	建設課で作業員の方を雇用して作業に当たってもらってるんです。ただ、2人しか雇えなくて順繰りあの下の方から入ってもらってるんですけど、途中まで行って今回の災害が発生してしまったので、そこから進まないという状況が実際のところなんです。
●●さん	かなり前行ったけど草刈りなっていなかった。
建設課長	こっちから入ってたけど、まだ向こうまで行き着く前に、今回の（災害）でちょっと入れなくなったっていうのが正直なところですよ。
●●さん	でもこれからでも刈るんですよね？あっちから刈ってもらうとか？
●●さん	今こっちからしか行けないのであれば、刈らないと通れない、木が下まで降りてきて車がまともに通ることができない。

建設課長	今回の災害の確認も向こうからも当然入ったので、そこはちょっと帰って作業の日程とかを見ながら出来るだけ対応するようにしたいと思います。
●●さん	大きい木にかかったのもちゃんと切ってもらえと業者に言って切ってもらわないと、段々トンネルみたいになる。
●●さん	さっきのイノシシの話に戻るけれども、余談で聞いてください町長。置賜の方は会員数っていうか、猟友会の会員数が増えてきた、かなり。女性の方も多くなって、あっちの方は何で増えてきたのかなと思った。ジビエの魅力を発信してんだよ。みんなを集めて、ジビエをみんなに食べさせて。そういった取組みをずっとするようになってから結構増えてきたんだよね。そういったこともあれなのかなと個人的には。だから、そういったことを例えばイベントみたいにして増やしたんだろけど。そういった魅力を感じる事がなければ、やっぱり興味を持つ人もいないと思うし、免許取ってけろって言ってもやんだで終わるべし。そういった取組みをしているということを伝えさせてもらいました。
●●さん	地域計画についてなんですけれども、今回、過去2回座談会みたいな感じでやるわけなんですけども、なんでこうまとめたのか。地域計画っていうのは今町でやってるのは大きくみた地域のわけだ。ところがやっぱり各地区地区で営農形態も違うし、計画もやり方も違うと思う。あとはその構成な、やってる年齢の構成から何から、構成も違うのになんで大きく括ってこの計画を作るとしているのかなというのはそれちょっと疑問だったので。例えばここだったら次年度、大浦、白鷺3つ一緒になってしてるわけだ。もう形態が全然違うわけよな。だから、その辺、他の地区でもそういう声聞こえだもんでなんでそういう大きい括りにしたのかなと。
産業振興課長	これでもだいぶ小っちゃくしたつもりではあるんですけど。横山、田沢は1つです。大石田地区も1つです。亀井田地区を5つのブロックに分けてやってるので、そこはそこでその地区に合わせた計画ということで、次年度さんは白鷺、大浦という3つがあるからあれなんでしょうけども、他の所についてもその地区に合わせたような計画ということで今してますし、大石田、横山あたりも1つのブロックにはしてるんですが、なかなか担い手という方がいなくて、ご案内してもなかなか人が集まらない。その前にアンケートした結果でも大きく、大規模化をするという方がほとんどいないということもあって、各地区地区でいろいろな計画には今のところなる見込みでもありますし、国でも10年後に、次年度であれば、●●さん、ここは●●さんとかっていう話で、そういう風な理想で作れということではありましたが、10年後、現状維持でもいいという話もありますので、それは各地区地区で2回した結果ですけど、集まり具合も3割ぐらいなんですよ。ご案内した方々から、もっと集まりを増やせという話もあるんですが、実際担い手の方からお話を聞かないとなかなか難しいということもあって、それなりにしたつもりではあるんです。うちの担当の職員も県の研修会に行ってますが、どこも困ってます。基本的に担い手がないので、現状維持でもう全部そのままで作りますというところもありますし、

<p>●●さん</p>	<p>各地区で少しでも集約化できるものについては集約した地図を作りたいというところもありますが、なかなか困っているのが今のところ現状です。なかなか難しい。</p> <p>1/3過ぎたわけでね。あと2/3の期間、3月いっぱいまで策定できますか？</p>
<p>産業振興課長</p>	<p>策定しなければなりませんので作ります。最悪、現状維持でも良いということで、国からはもう来てます。現状維持でもう完成したというところも全国にもあるようで、全く今と変わらない地域計画になっているところもある。3月までにはなんとか。本当の理想の地図について、最初国ではそういった計画をつくるということでありましたけれども、現状の方も理解をさせていただいているようで、町でも今年度で完成だとは思ってませんので、まず今年出来るところまでということで、地域計画は作っていききたいというふうに思っておりますのでご協力よろしくお願いたします。</p>
<p>●●さん</p>	<p>10年って長いよね。3年後5年後だったらなんとか見通せるけど。10年後、俺百姓してないはというのが結構出てくるだろうから、そこが課題で大きい問題になってるなあと考えたよね。</p>
<p>産業振興課長</p>	<p>まだ10年後やりたいというのであれば、そのまま（現状維持）ということでもしょうがないというふうになりました。</p>
<p>総務課長</p>	<p>ありがとうございました。では、この辺で意見交換を閉じさせていただければと思います。本日の座談会におきましては、特に印象に残ったのが有害獣の駆除、猟友会の観点とかですね。毘だけ取れるだという風なお話もいただきました。その辺は今後ですね。取り組んでいけるんじゃないのかなと個人的には思ったところがございます。その他の貴重なご意見も様々頂戴をいたしました。本当にありがとうございました。本日いただきましたご意見につきましては、今後のまちづくりの方でですね。活かしてまいりたいと思っておりますので、今後とも皆様のご協力、ご指導をよろしくお願したいと思います。</p>
<p>6. 閉 会 （午後8時15分）</p>	